

弥富市立桜小学校で防災講座を行いました

令和6年6月25日（火）、弥富市立桜小学校で5年生72名に水害と地震の防災講座を行いました。学校の近くには木曾川が流れています。桜小学校での講座は今年で2回目となります。

水害の講座では、弥富市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和51年の9.12豪雨災害など過去に発生した水害や、近年頻発して豪雨となっている線状降水帯についても学習しました。

地震の講座では、元日に発生した能登半島地震やこの地域で発生した濃尾地震などを学習しました。自分たちの住む地域で地震が起きた場合に想定される液状化危険度や津波の高さをハザードマップで確認し、どのような場所に住んでいるのかを認識していただきました。

講座中は、皆さんメモを取りながら質問にも元気に受け答えしてくれていました。また、ペットボトルを用いた高潮や竜巻・雲をつくる防災科学実験や、街に見立てた模型を用いた液状化実験、長周期地震動の実験では、積極的に説明を聞き楽しみながら行っていました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。



水
害



地
震

